

「将来に責任ある行政」 についての考えは



さかた かずひろ
坂田 一広 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 必要な投資は積極的に行いたい



商業進出で税収が増えた（インター東側）

問 令和5年度決算結果を受け、町長の町の財政状況についての所感と「将来に責任のある行政」についての考えは。

答 経常収支比率は年々上昇しており、財政構造の硬直化も高い水準で、財源的に余裕があるとは言えない状況。その要因の1つに、義務的経費の歳出に占める割合が多い状況であり、言い方を変えれば、施策として自由に利用できる財源が少ないということとなり、大変厳しい状況にある。今後も事業実施については、事業規模・財政状況などを見据えた上で行っていきたい。同時に、将来に向けて必要な投資は積極的に行いたい。

問 駒寄スマートIC東側の大型商業施設の税収はどれくらいか。

答 固定資産税については約4300万円。法人税については約1600万円。

問 町では、インター西側に企業誘致する計画が進行している。工業団地の分譲・販売方法の選択によっては、数十億円にも上ると予想される土地開発公社の借入れを債務保証しなければならぬ。企業誘致

の目的の一つに町の財源確保がある。ここで改めて自主財源確保の必要性についてどう考えるか。

答 財源となる税収が増えても、それに比例して義務的経費も増えることになる。また、自由に利用できる財源が、飛躍的に伸びるといわけではない。自主財源確保の必要性は十分承知しているが、経費の分担、または世代間の公平性の確保、必要に応じて地方債を利用しながら財政運営を行いたい。

国指定史跡に向けた活動は 保存活用検討委員会 設立に向け準備

問 三津屋古墳・南下古墳群を国指定史跡にする活動をどのように展開していくのか。

答 三津屋古墳は、国指定相当の埋蔵文化財リストに掲載され、文化庁のホームページで周知されている。



国指定史跡になることに期待（三津屋古墳）

る。今後は、調査報告書に基づき、史跡としての本質的価値について、有識者および国・県の指導助言を受けながら調査研究を行うことで、国指定を目指していきたい。南下古墳群についても、有識者から指導助言を受けながら調査研究したい。来年度、有識者と住民からなる古墳の保存活用検討委員会設立に向け、要綱の整備や人選を進める予定。



こいけ はるお
小池 春雄 議員



録画映像は
こちらをCHECK

高齢者を敬う精神はどこへ

答 敬う町の姿勢に何ら変化はない

問 令和6年3月議会で吉岡町敬老年金条例の改正が行われた。1つ目が名称の変更で、敬老の文字を削除して長寿祝金に変えた。敬うという精神はどこへ行つたのか。高齢者を軽んじているのだと思う。2つ目が、支給年齢の引き上げで、80歳と85歳をなくして、88歳・90歳・95歳、そして100歳以上となった。寿命の延伸とはいえ、これをどのように考えるのか。

答 多年にわたり社会に尽力してきた高齢者の長寿を祝福し、広く町民の高齢者福祉に対する理解と敬老精神の高揚を促すため



入浴しやすい料金体系に（リバートピア吉岡）

あり、高齢者を敬う町の姿勢に何ら変化はない。その一方で、我が国は65歳以上の人口の割合が全人口の21%以上を占める超高齢社会が到来している。楽しみをしている人がいらつしゃるという話を伺い、大変申し訳ない気持ちではあるが、高齢者の多様性に配慮した施策の推進に活用していきたいと思つているので、ご理解いただきたい。

問 老人会に確認はしたか。

答 聴取はしていない。

問 老人会に1人いくらの補助を出しているのか。

答 老人会の助成関係については、改めて研究などとする。

リバートピア吉岡の利用料値下げを

現行の方針で進めたい

問 リバートピア吉岡の利用料は、近隣の公的温泉より非常に高くなり批判もある。設置時の目的は、町民の福祉のためである。榛東村は300円、吉岡町は600円。人は安いほうに行くため、間違いなく入館者は減る。住民が入浴しやすい料金体系が求められるが、対応は。

答 しばらくは現行の方針で進めていきたい。

学校給食の無償化を

一定の負担を求める

問 給食費無償化が県内で進み、35市町村のうち

未実施は13市町村。吉岡町も早く実施すべきと考えるが。

答 今後も一定の負担を求めていきたい。

問 学校給食の地産地消への取り組みは。町の今後の農業の在り方を真剣に考え、農家を支え、子どもたちに安全・安心な給食の充実を図っていく必要があると思うが。

答 農家への補助制度の整備や、給食による地産地消のメリットを広く周知し、農業関係者や生徒・保護者の理解を求めるなどの方法を研究していきたい。



学校給食で地産地消を

保育園などの待機児童対策は



いづか けんじ
飯塚 憲治 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 増築・定員増計画を協議中



増築され40人定員増となる駒寄第3学童クラブ

問 保育園・認定こども園は入園を希望する人にとって厳しい状況だが、待機児童対策は。

答 時期は未定だが増築・定員増計画を協議中。引き続き待機児童対策に最優先で取り組む。

問 学童クラブの待機児童数は深刻なのは。施設増を推進し、入所条件を緩和する考えは。

答 本年度中に駒寄第3学童クラブを増築、40人の定員増を実施するが、入所条件の緩和の余裕がない。新施設の建設は候補地などの検討を始めている。

問 学童クラブ入所条件から外れる児童の長期休業期間での見守りを条件緩和して実施できないか。

答 当該児童の受け入れは現状難しい。学童クラブの支援員が、慢性的な人手不足の状態。募集はしているが応募は少ない。

問 学習に生成AIを導入する教育効果は大きい。その悪影響から児童生徒を守って、生成AIの効果をも十分に発揮させるための指導の考え方は。

答 生成AI動作の仕組みを教えるなど、限定的な利用から始めていく。初

めに、生成AIの利便性と留意点を、次に使い方を学び、そして各教科で積極的に日常使用していく順序とし、段階を踏んで進む方針を考えている。子どもにとって急速な変化とならぬように、慎重に少しずつ進める。

吉岡バイパス延伸 未着手ななぜか

本路線より優先度の高い路線の存在

問 県道前橋伊香保線吉岡バイパスは、宮東交差点までが供用開始後20年以上経過した。その先が未着手なのはなぜか。県の計画の現状は。

答 現状は、「着手に向けて検討する事業」だが、事業化はされていない。考えられる理由は県内他路線との優先度の違い。以前より渋川市と連携した要望活動において、県の県土整備部長および渋川土木事務所長に着手を強く要望している。



県道大久保上野田線の建設を待つ
(関越自動車道のボックスカルバート)

問 県道前橋伊香保線吉岡バイパスの延伸は、上毛大橋に始まった吉岡町都市計画道路の集大成となる事業。延伸実現のための戦略は。

答 第一に要望活動を足しげく重ねること。次に渋川市との境界付近における産業団地の整備構想を模索している。産業団地へ通じる県道前橋伊香保線吉岡バイパスが延伸して整備となれば、吉岡町都市計画マスタープランを改定して、早い段階での産業団地の事業化を考えている。



ふじた 藤多 ゆかり 議員



録画映像は
こちらをCHECK

幼保小の架け橋プログラムの 取り組みは

答 円滑な接続・連携を進めている

問 文部科学省では令和4年度から、小

学校入学前の5歳から小学1年生までの期間を架け橋期と捉え、幼少期からつながりのある教育の実現を目指す幼保小の架け橋プログラムが策定されたが、町での取り組みは。

答 幼児教育と小学校低学年の教育は共通する理念・方針の下

で行われていると認識している。交流による状況把握と職員間の密な情報交換を行い円滑な接続・連携を進めている。ひばりの家の利用状況は。

答 7月1日の開所以来、夏季休業中も2〜3人の定期的な利用があり、夏休み明けには6人の利用があった。

問 ひばりの家の給食の早期実施を。

答 給食を10月から提供できるよう準備を進めている。

問 プラごみの収集回数増加についての考えは。

答 収集回数を増やすに当たり、経費面現在の収集スケジュールを大幅に見直す必要があり、本年度中には回数を増やすことは難しく、早くても来年度以降と考えている。



小学校入学をスムーズに

駒寄スマートIC南交差点 右折信号の設置は

答 本年度末を目標に進める



みやうち まさはる 宮内 正晴 議員



録画映像は
こちらをCHECK

問 駒寄スマートIC南交差点の右折信号はいつ設置するのか。

答 県議会議員からも設置要請があり、本年度末を目標に進めることになった。

問 明治小周辺をゾーン30プラス、駒寄小周辺をゾーン30の予定は。

答 ゾーン30プラスはハンパなど物理的デバイスを設け、生活道路の人優先の整備に取り組むもの。明治小周辺の指定は通学路の合同点検の意見を考慮し検討したい。駒寄小周辺地域については、

地元自治会などから声が上がれば渋川警察署へ上申したい。

問 住宅街の通過車両の進入防止は。

答 周辺生活道路への進入抑止策で看板を設置。

問 通学路のより一層の安全対策を求めたいが。

答 関係機関と合同点検で、対策を協議し整備を考える。

問 水難事故防止の教育指導は。

答 「考えて行動できる人」の育成に力を注いでいる。また海・川には大人と一緒に出掛けるよう指導。



早期設置に期待
(駒寄スマートIC南交差点)

産業団地関係者アンケート 状況は



とみおか えいいち
富岡 栄一 議員



録画映像は
こちらをCHECK

答 関係者全員へ配布済み

- 問** 西側産業団地関係者は何人なのか、またアンケートは全員に配布できたのか。
- 答** 関係者は111人。説明会欠席者には郵送にて配布済み。
- 問** 回収状況は。
- 答** 全ての回答が得られるよう、現在対応にあたっては、
- 問** 進捗状況を関係者や周辺住民など、町民に対し町のホームページに開示していくべきでは。
- 答** 現在アンケート結果を精査中。ある



プラスチックの
ごみはかさばる

- 問** 次期最終処分場「吉岡町」の、令和6年度の測量・地質調査の進捗状況は。
- 答** 現在渋川広域組合では、町が報告した候補地の範囲を中心に測量を実施中。地質調査は、場所が確定しないため行っていない。
- 問** プラスチック類のごみ収集は当初の想定量より少ないというが。
- 答** 現在当初想定していた量の55%程度の搬入量である。

お便りコーナー

多くのご意見・ご要望が寄せられました。

紙面にカラーが多くなって見やすくなった。賛否一覧は紙面に出したほうが手間がかからずいいと思います。プラスチックは毎週回収してほしい。

商業施設が増え、住みやすくなった分、犯罪などが心配です。防犯カメラの設置を増やすなど、より良く住みやすくなるよう願っています。

生まれてから吉岡町に住んで、もう9年です。とても住みやすい町です。

吉岡町の魅力を教えてください。この応募を二次元コードからできるようにしていただけたら嬉しいです。

プラスチックの分別を始めてみると、改めてプラ表示のごみが多いことに気づきました。「想定していた収集量より相当少ない」とのこと、皆さんの分別意識が増えるといいですね。

クイズがあることで内容をしっかり読むきっかけとなっています。自分が住む地域のことがよく分かり、面白いです。

議員さんのご意見・要望案に感心させていただいております。ありがとうございます。

一般質問と答弁の内容を知ることができて、大変よいと思います。

表紙が変わりましたね。あなたのがポイントですよ。自分のために熟読したいと思います。暑い日が続きますが、体調崩さずに。

暑さ厳しい折、お体に気をつけて町の発展のため活躍を期待します。

夏休みに入り、初めてギカイだよりを読んで議会体験をして良いことを考えていきたいです。